

会 議 録

1 会議名

令和 6 年度第 11 回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 自主的な審議（公開）

- ・ 柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について
- ・ 団体との懇談結果及び自主的審議事項のテーマについて
- ・ 視察研修の実施について

(2) 報告事項（公開）

- ・ まちづくりフォーラムの開催結果について
- ・ 令和 7 年度柿崎区における主な事業について

(3) その他（公開）

3 開催日時

令和 7 年 3 月 18 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 35 分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 3 階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

0 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

- ・ 委 員：吉井会長、中村副会長、石田委員、金子委員、小出委員、小関委員、
小山委員、坂木委員、佐藤（達）委員、佐藤（昌）委員、
佐藤（ま）委員、滝澤委員、蓑輪委員、山川委員
- ・ 事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、石澤次長、
五十嵐産業グループ長、宮崎建設グループ長、
石川市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長

8 発言の内容（要旨）

【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に中村副会長を指名。
- ・次第4の自主的な審議に入る。(1)柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について協議する。最初に、第5回米山薬師を守る会が柿崎区総合事務所産業グループと意見交換した。副会長から取組状況の報告をお願いする。

【中村副会長】

- ・3月3日に第5回の会議を開催した。2月の米山薬師を守る会の会議の時に、産業グループから話を聞いた。今回も産業グループから来てもらい山岳会から提出された1年間の活動報告書を見ながら行政と山岳会のつながりの説明を受けながら一緒に今後のことを検討した。結果として、ボランティアを取りまとめる団体がなかなか見つからないということで結論には至らなかった。皆さんの意見の中では山岳会の皆さん自体は山岳会が解散しても米山に登る気持ちはまだあるということと、山岳会がやってきたことを形を変えてでもやらないと米山登山道は守れないのではないかと話を話した。最終的には、ボランティアを取りまとめてくれるところがなかなか見つからないとこの話は先に進まないのではないかと長時間話した。次回に打開策を考えられないかと言うことで、今回は結論に至らなかった。

【吉井会長】

- ・今の説明に補足事項があったらお願いします。

【小山委員】

- ・運営母体の代わりとなるところについて、ほかの委員からアドバイスがいただければありがたい。

【吉井会長】

- ・ほかに意見ないか。
(意見なし)
- ・柿崎山岳会が来年度の3月に解散するのであと1年である。再来年度からの事業をどうするかは、来年度中に決めておかないと再来年度の活動ができなくなってしまうので、スケジュール的にタイトになってしまう。再来年度の予算を確保しようと思ったら、来年度の8月くらいまでに決着をつけて行かないと予算が確保できなくなる。その辺も踏まえて、委員のメンバーに願います。
- ・他の委員から質問等あるか。
(質問等なし)
- ・次に、ネットワーク柿崎から報告をお願いする。

【佐藤達弥委員】

- ・詳細は資料2のとおりである。3月5日に今後の活動についての打合せを行った。現状、情報収集や近隣のお手本となるような活動をしているところの視察をしていこうと考えており、課題としては組織の人員と財源の強化が必要であることと継続して行くにあたり支援や財源をどうするかが課題としてであると皆で認識している。今後の取組の方針として、先進的な取組をしている団体、組織、自治体の調査、研究、視察を行っていこうということで吉井会長から頸城区でジモ活 Base という情報発信サイトを運営しているという紹介があり、今回視察研修を受けていただけることになった。3月24日18時半から頸城区総合事務所でジモ活 Base を立ち上げた方々からこのサイトの説明を受けて、どういう運営方法で活動しているのかを伺う予定である。聞いてみたいことをまとめて事前に送り、次回の打合せでこの辺を聞いてくる予定である。ジモ活 Base の概要は、資料2の5「ジモ活 Base の概要」のとおりである。地域独自の予算事業を活用してホームページを立ち上げて運営しているとのことであり、その辺の運営方法等についても聞きたいと考えている。来週視察をして4月1日の第6回ネットワーク柿崎でまとめとその後の進め方について打合せする予定である。

【吉井会長】

- ・今の説明の追加説明があればお願いします。

【石田委員】

- ・本日配布された大潟区と頸城区の地域協議会だよりもジモ活 Base の記事があり、頸城区の方には地域独自の予算の一覧の中に記載がある。大潟区でもさとまる学校のことが載っていて、似たようなことをやっている。3月24日にはこの辺を踏まえて良い話を聞いてきたいと思う。また、リスクマネジメントをどのようにしているのかも併せて聞いてきたいと思っている。

【吉井会長】

- ・ほかにないか。今、石田委員から報告があったように頸城区地域協議会だよりの中から2段目に「頸城区の情報を定期的に発信するポータルサイト事業」がある。これは令和7年度の地域独自の予算事業で、令和6年度に申請している。予算額が94万1千円になっている。柿崎が再来年度にスタートしようと思ったら、今年の8月までには予算を上げて計画書を作らないと翌年に間に合わない。先ほどの米山薬師と同じペースで詰めて行かないとまた1年先に延びることになってしまうので、委員の皆さんにお願いします。
- ・ほかにないか。
(会長、24日に頸城区へ行く委員の数を確認)
(9人であることを確認)
- ・それでは、次に移る。(2)団体との懇談結果及び自主的審議事項のテーマについて、まずは農業団体との懇談会について蓑輪委員長にお願いします。

【蓑輪委員】

- ・報告する。今回は資料3で文書化してある。どこもそうかもしれないが、後継者不足、担い手不足が深刻化している。高齢化が進んでいて跡を継いでくれる人がいないということが1点。それから、米作りは後継者がいない、それでどこからか来てもらったといっても、水が非常に大事である。水については個人ではどうしてもできない作業がある。柿崎区には大きく言って大沢用水、初田用水など用水路があるが、少人数で管理できない。さらに米作りにはその水が命である。現状どうなっているかというと、地域、各町内の共同作業で成り立っている。この共同作業が少子高齢化、人口減少で成り立たない。ニュースを

見えていても個人経営の店が後継者がいなくて店を閉めている。では突然誰かが後継者になっても、特にコメ作りはそう簡単にいかない。地域全体、町内全体の支援的なものがないという構造的な問題が起こる。突き詰めて行くと国の政策にまで行ってしまうという非常に大きなテーマになってしまう。前回は報告したが、たまたま今コメ不足で、ニュースを見ると 5kg のコメの店頭販売価格が 2 倍の高さになっている。水と空気と同じように日頃あって当然であったコメが今、異常に高くなっている。世の中のすべての皆さんがコメが買えない時が来るかもしれないと危機感を持っている。これが、良いように農業の発展につながると良いが、なかなか大きな問題なので国もコメの値段を下げようと躍起になっているが、やはり国全体の問題で、地域協議会として自主的審議事項として取り組むことができる課題としては、あまりにも大きなテーマとなってしまうということもあり、絞り切れないということが結論になった。

【吉井会長】

- ・意見、質問はないか。
- (意見、質問なし)
- ・それでは、次に漁業団体との懇談会について小山委員長にお願いする。

【小山委員】

- ・2 班で 2 月 25 日に柿崎区総合事務所 2 階会議室で漁業団体 7 人、地域協議会 6 人で実施した。
- (資料 4 により説明)
- ・先ほどの農業団体との懇談会と同様、後継者問題、漁港周辺の駐車場整備等自主的審議事項のテーマに沿った地域協議会が取り組むことができる課題としては見つからなかったという結論に至った。

【吉井会長】

- ・質問、意見はないか。
- ・私も農業団体と漁業団体との懇談会に参加したが、両方とも国や県が絡まないとできない事業が結構多い。色々悩みは聞いたが、スケールが大きすぎて地域協議会が自主的審議事項に上げて取り組むのは難しい。いろいろ課題を見つけて自主的審議事項に上げられるものがあったら、任期の間にでも上げて行きたい。意見がなければ先に進む。それでは、(3)視察研修の実施について長井班長

に説明をお願いします。

【長井班長】

- ・視察研修の案内文書が資料 5 である。ジモ活 Base はホームページを始め SNS を活用し地元頸城区のイベントや話題などを発信している団体である。先ほど出席される委員の報告があったが、参加される委員は当日は午後 6 時 20 分、現地集合をお願いします。

【吉井会長】

- ・参加される委員は、事前にジモ活 Base のホームページを見てこんなことをしている、柿崎もこんなことができるのではないかなどを認識してから参加するようお願いします。
- ・それでは 5 報告事項に移る。(1)まちづくりフォーラムの開催結果について長井班長に報告をお願いします。

【長井班長】

(資料 6 により説明)

【吉井会長】

- ・非常に中身の濃いフォーラムだったのではないかと思います。せっかくなので、来年のフォーラムに向かって反省点を一言ずつお願いします。石田委員、いかがか。

【石田委員】

- ・とても活発に意見をいただいたという印象がある。時間が押していたが、もっと話したいという方がいたと記憶しているので、来年はネットワーク柿崎のもう少し進んだところを披露し、また活発な意見をもらいたいと思う。

【金子委員】

- ・今回、新たにポスターを配布したところがあったが、なかなか参加に繋がらなかった。来年は、できれば初めて参加される方を集めて、ご意見をいただきたいと思う。

【小出委員】

- ・とても良かったという意見を何名から聞いている。当日は雪で行けなくて残念であったが、内容が身近なことなので行ってみたかったという声もいただいた。年配の方が身近な話でぜひ聞きたいと言ってくれたのは良かった。今回は産廃の説明をしてもらったが、新しい意見を聞くために来年度くらいには講演会と

かシンポジウムみたいな広い視野のものを聞くのも良いのではないかと思います。

【小関委員】

- ・柿崎区内の人からもう少し発言があればと思った。

【小山委員】

- ・私が感じたのは、皆さんが言うとおりでと思う。おそらくまちづくりフォーラムに来ていただいている方々は意識の高い方々だと思うが、先ほど小出委員が言ったように講演会とか何かもう一つ魅力を加えて、色々な方に、若い人も含めて来ていただけるような工夫があれば良いと思う。

【坂木委員】

- ・若い人が数名しかいなかったが、発言していただき、色々な意見を聞かせていただいたことが良かったと思う。まだまだそういう意見を持った人がいると思うので、そういう人にも来ていただきたい。

【中村副会長】

- ・自主的審議事項が始まってそんなに時間が経っていなかったのも、当日の報告も多くはできなかったと思う。その割に来ていただいた方からは色々な意見をいただいたのはうれしく思っている。

坂木委員が言われた若い人も、元々は柿崎の人ではないが、外から来た人の意見が聞けてありがたかった。来年はこのフォーラムを2時間でまとめるのは実際難しいのではないかと思いますので、その辺を考えた方が良いと思う。

【佐藤達弥委員】

- ・質疑応答が非常に活発だと実感した。今回は初年度で活動がスタートしたという紹介がメインだったと思うが、先ほど石田委員が言われたように次回は自主的審議事項がこれだけ進みましたという一定の成果がある程度発表できるような形で進めて行けたらと考えている。

【佐藤昌貴委員】

- ・まちづくりフォーラム全体を振り返ると、事業報告の中で産廃の最終処分場の整備について、担当から来てもらい活発に意見交換されていたのは、良いフォーラムだったと感じられた。私も発表者としてスポまちプロジェクトを発表したが、かなり前向きな意見をいただき励みになっている。今後、具体的に進めて行く中で必ず出てくるのが実施主体探しというのが、一番難しい内容になっ

てくる。米山薬師を守る会についてもヒントになるようなもう少し具体的なものを探せたら、ほかのプロジェクトの方も手伝うことができるかと考えているので、ある程度調査を進めながら、今現在は始めたばかりだが具体的なプロセスに入って行けたらと思っている。

【佐藤まゆみ委員】

- ・私も、柿崎区外の方から柿崎区の活動内容、当日の様子について称賛の声をいくつかいただいた。こういう会があるというのはわかってはいたが、なかなかこちらの方に足を運ぼうという気持ちにはならなかった。私は今、協議会だよりの編集長という役をいただいているが、フォーラムだけでなく協議会だより等を通して年間を通して柿崎区の人たちがより区のことに対して興味を持ったり、自分たちが何とかできるのではないかという身近な内容になるように考えて行かないといけないと思う。

【滝澤委員】

- ・今年、1年目と言うことでこちらから伝えたい情報を全部提示するのが難しかった。来場者が知りたい情報に開きがあった。来年に向けてこちらから提示できるものも多くなると思う。こちらが伝えたい情報を伝えたい人に来てもらう方向づけを考えて行かなければならないと思った。

【蓑輪委員】

- ・今、滝澤委員から伝えたい人に伝えるという話があった。先日、柿崎中学校の卒業式に出席した。一人一人の顔を見ながらこの内の何人が柿崎に残ってくれるのか、ぜひ残ってほしいと思った。参加者は少し年齢層が偏っていたりとか、区外の方もいて、それはそれで良いのだが、これからこの地区を盛り上げてもらいたいのは、子どもたちである。中学生からぜひ次回のフォーラムに参加してもらうような形で企画をして、地元柿崎で今こんな問題に大人たちが取り組んでいる様子を聞いてもらって、その中の一人でも二人でも地元に残って柿崎のために頑張っていこうという気持ちを持ってもらうような、そんな子どもが一人でも増えたら良いと思っている。ぜひ次回はそんな企画が実現できれば良いと思った。

【山川委員】

- ・今回、実行委員長ということでやらせていただいた。正直このフォーラムも今

まで参加したこともなかったので、どんなふうに行っていくかも全然わからない中で始まったが、各自主的審議事項の委員長の方々も素晴らしい資料を作ってくれたり、当日皆さんに参加してもらって多くの方からも来ていただき、本当に良かったと思っている。今、滝澤委員や蓑輪委員が言っていたように若い人たちの参加が少ないというのを一番感じた。各審議事項に関してそれぞれに質疑応答が活発に行われ色々な意見が出た。その中で私たち協議会委員も取り上げて行かなければならない意見も多々あったと思う。そういう意見も若い人たちに聞いてもらう機会がもっと作れたら良いのではないかと思った。天気の悪い中、思った以上の方に集まってもらえて安心した。

【吉井会長】

・一番多かったのは、柿崎区でまだこのフォーラムに参加していない人たちにいかに参加してもらうかを1年かけてみんなで考えて行きたい。協力をお願いする。産業廃棄物の説明をしてもらったが、2回目だったか。参加者からこういう機会がなければ内容がわからなかったという話があった。そう言われてみれば一般の方に直接、産業廃棄物の処理場の話を行政側からしたことがないのでは。町内会長や地域協議会にはあるが、やはりそういう機会を我々が作って参加した方々がそれを聞いて「ああ、こうなっているんだ。」というのを資料ではなく声で聴くというのが重要なのだと思い、やって良かったと私は感じた次第である。今年のフォーラムは無事、成功裏に終わったのではないかと思う。感謝する。

・次に移る。(2)令和7年度柿崎区における主な事業について各グループ長から報告がある。

【松崎次長】

(資料7により総務・地域振興グループの事業を説明)

【五十嵐産業グループ長】

(資料7により産業グループの事業を説明)

【宮崎建設グループ長】

(資料7により建設グループの事業を説明)

【石川市民生活・福祉グループ長】

(資料7により市民生活・福祉グループの事業を説明)

【小林教育・文化グループ長】

(資料 7 により教育・文化グループの事業を説明)

【吉井会長】

- ・各グループ長から主な事業について説明があった。委員から質問等ないか。

【小関委員】

- ・30 番の頸北斎場管理運営費について、何年か前に廃止の話があったが、今後このまま維持していくのか。

【石川市民生活・福祉グループ長】

- ・一度、頸北斎場廃止という話も上がったが、地域の皆さんの声を聞いて方針を変えて、今の施設の更新時期までは適切な維持管理をして行くということになっている。その後については、またその時に協議することになっていると思う。

【吉井会長】

- ・小関委員よろしいか。この前の前の地域協議会で行政から廃止の意見が出たが、地域協議会で廃止しないでほしいと市に意見書を出した結果、市ではメンテナンスをしながら使えるだけ使うという返事があった。どこまで使えるかは行政でもはっきりとわからないと思う。
- ・ほかにないか。産業グループから報告があった 14 番に米山山頂避難小屋とかがあるが、これが米山薬師を守る会との兼ね合いで来年度は 367 万 7 千円の中に入っているとのことだが、これが令和 8 年度になった時に例えば、米山山岳会が手弁当でやっているものがない、あるいは有償でやってもらうとかになるとこの金額ではできなくなってくる。この辺が大きな変更点になるのかと思う。
- ・ほかにないようなので先に進む。6 その他会議の開催日程について長井班長に報告をお願いする。

【長井班長】

- ・次の会議の開催日程を説明する。
 - (1)第 4 回スポ×まちプロジェクト
 - (2)ジモ活 Base 視察研修
 - (3)第 6 回ネットワーク柿崎
 - (4)令和 7 年度第 1 回柿崎区地域協議会

(5)令和7年度第1回柿崎区地域協議会だより編集委員会

(当日配布物について説明)

【吉井会長】

- ・それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後7時35分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。